

# ヒトプラセンタ製剤について

ヒト胎盤(プラセンタ)から生理活性成分を抽出した医療用医薬品です。

## ※主な作用

- ①肝疾患の場合、ウイルスやアルコールで線維化した肝組織を修復します。
- ②細胞1個1個の組織呼吸や新陳代謝を高め、細胞機能を活性化します。
- ③肝臓などに沈着した脂肪を減少させます。
- ④以上の組織修復力を利用し、美容分野や整形外科分野（慢性の疼痛、しびれ、疲労等の症状）でも使用されます。

## ※副作用

主な副作用として、注射部位の疼痛、過敏症(発疹・発熱・掻痒感など)、注射部位の硬結、頭痛、肝機能障害(AST,ALT 上昇など)が報告されています。また、ヒト組織由来のタンパク・アミノ酸などを含有する製剤であるためアレルギーを起こすことがあります。投与を受けてこのような症状が出た場合あるいは不安に思われた場合は、必ず担当医師にご相談下さい。

## ※ウイルスや細菌などに対する安全性

ウイルスや細菌が製品に混入しないようにするため、汚染防止対策を講じております。

- ①原料提供者について医師による海外渡航歴やウイルス等感染症のスクリーニングを実施
- ②受入試験でB型肝炎、C型肝炎及びエイズ(後天性免疫不全症候群)のウイルス検査に適合した原料を使用
- ③製造工程では、科学的に証明された種々のウイルス不活化処理（有機溶剤処理、酸処理、高圧蒸気滅菌処理）を実施
- ④最終製品についてB型肝炎、C型肝炎、エイズに加え成人T細胞白血病及びリンゴ病のウイルス検査で陰性であることを確認

**ヒト胎盤を原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は現在まで国内・海外ともにありません。**

しかしながら、投与をうけた方は、日赤を通じた献血ができなくなります。

※昭和49年の発売開始以来、ウイルス肝炎、エイズ、vCJD（変異型クロイツフェルト・ヤコブ病）などの感染症の報告はありません。

ひさしたかし整形外科クリニック